

2009専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会



▲〈開会式〉 全55チームが横浜スタジアムに集合



▲ 激闘を制し優勝に輝いた福岡オールスターズ

創立130年記念大会

栄冠は福岡オールスターズに



▲ ヨコハマロビンスの軽快なステップドリル (開会式)



▲ 全学応援団チアリーダー部「BLASTS」がダイナミックなパフォーマンスで開会式に花を添えた



▲ 開会式であいさつする日高理事長・学長

55チームが熱戦繰り広げる

日に保土ヶ谷少年野球場などで熱戦を繰り広げた。同11日、横浜スタジアムでの準決勝第1試合は、永田台少年野球部(横浜市南区代表)が在田南イグルス(同都筑区代表)を4対3で、第2試合は、福岡オールスターズ(同金沢区代

専修大学創立130年記念大会として開催された「2009専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」。県内各地域の代表チームに特別枠1チームを加え



▲ 準優勝の永田台少年野球部

1回戦から4回戦は、同8、9

た55チームが参加した。8月5日に横浜スタジアムで行われた開会式で、大会会長の日高義博理事長・学長が「日ごろの練習成果を發揮し、夏の思い出となる素晴らしい試合を期待します」とあいさつし、橘ウィングス(藤沢市代表)の前原朗主将が力強く選手宣誓した。司会進行は、アナウンサー職に内定している小嶋健太さん(商4)が務めた。



荒木敏夫副学長から優勝チームに優勝旗と記念メダルなどが贈呈された



▲ 開会式・表彰式ともに司会進行を務めた小嶋さん



表が南生田ウィングス(川崎市多摩区代表)に8対5で勝利。決勝は、永田台少年野球部が4対2でリードしていたが、7回裏、福岡オールスターズが同点に持ち込み、特別ルールの延長戦に突入。8回表に永田台少年野球部が2点を挙げたが、その裏、福岡オールスターズが3点を返し、劇的な逆転勝ちを収めた。

最優秀選手賞は、福岡オールスターズの大竹勇気くん、敢闘賞は、永田台少年野球部の田辺直輝くんが受賞した。

表彰式では、優勝チーム、準優勝チーム、3位チームに荒木敏夫大会会長代行(副学長)、鈴木一誠神奈川県少年野球連盟学童部会長から、それぞれ表彰状、カップ、盾などが贈られた。準決勝・決勝を戦った選手と監督・コーチに、記念のメダルが授与された。



熱闘の記録 キラキラ輝いた夏

